

# し ター

## ～前野小学校 特集～

発行元:教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

前野小学校では、6月のCS委員会での話し合いを経て、この7月より放課後学習教室「ドッピー教室」をスタートしました。今回は、「ドッピー教室」開始の経緯や実際の学習の様子などをご紹介します。（訪問日：7月15日（水））



前野小「ドッピー」

ドッピーは60周年を記念して誕生した前野小学校のマスコットキャラクターです！

### 「やった！できた！」という体験をさせたい

前野小学校の課題の一つに学力向上があり、何か対策をしたいが、学校はコロナ対応などで手一杯・・・そんな学校での課題をCS委員会で共有したところ、委員から「学習を定着させるサポートの場となる放課後学習教室を始めませんか」という提案がなされ、全会一致で「ドッピー教室」を行うことが決定しました。教材作成には教員も携わり、あいキッズの協力も得て、「ドッピー教室」が始まりました。

数名のCS委員と学力向上専門員に加えて、近隣に住む教員志望の大学生や元教員のボランティア、あいキッズ職員で指導をしています。この取組を継続していくために、2週間に1回という、大人にとっても児童にとっても無理のない範囲で実施していく予定です。校長先生は、「まだまだ始まったばかりですが、今いる教員が異動してしまっても、CS委員会や地域の方の力を借りてずっと継続していきたい。学習支援を本当に必要とする児童が、ドッピー教室に参加できるようにボランティアの募集についても相談していきたい。」と今後の展望についても語ってくれました。

### ドッピー教室の様子

14時から学習教室が始まり、まずはお楽しみ問題に取り組むことで児童の意欲を高め、集中と気持ちの切替を促していました。

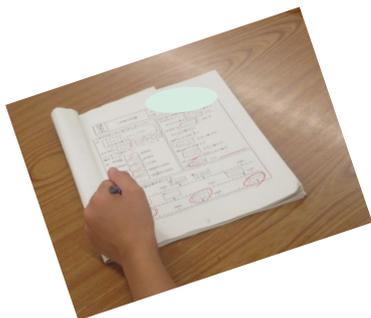
現在は、新型コロナウイルス感染症対策として、図書室と理科室の2ヶ所に分かれて実施しています。2人の児童に対して1人のボランティアがつき、児童の学習を見守ります。ボランティアの方は、「お友だちと競争じゃないよ」「おいしいな、ちょっと焦っちゃったね」「前回より1ページ多くできたね」と児童の学びを後押しする言葉をたくさんかけていました。



## 「えー、もう終わり？もっとやりたい！」

児童は1ページ解き終わるごとに丸付けをしてもらいますが、中にはどんどん先へ進みたいくなる児童もいます。そんなときは、ボランティアの方が「得意なところでも焦って解かずに、ノーマスをめざそう！」と問題への取り組み方を教えます。

ドッピー教室が終わるときには、児童たちから「もっとやりたかった。」という声がちらほらと上がり、この学習教室が児童の学習意欲を高めていることがわかりました。



## 情報交換会

児童の下校後に、ボランティア全員で情報交換会を行います。和やかな雰囲気の中、児童たちの様子や児童ごとの教材の進捗、どんなところでつまづいたか、その教え方などを共有します。あらかじめ担当する児童が決まっているので、どの児童の話なのかがすぐにわかります。



## 前野小学校での周知の取組【iCSだよりの発行+iCSコーナー】



【iCSだよりの発行】  
CS委員会の開催後に「iCSだよりの発行」を行っています。そこで委員の紹介やiCSでの話し合いの内容などを掲載し、保護者などへの周知を図っています。

【iCSコーナー】  
廊下の一角に「iCSコーナー」を作成し、委員の方々の名前入りの写真やiCSだよりの発行、教育委員会からのCS委員会の設置通知書、フラッグの写真などを掲示し、校内で児童や教員にCS委員会や委員の方々の存在が浸透するようにしています。



今後も、各校でのCS委員会の様子やCS委員会での話し合いが実際の活動につながった事例について、見学やインタビューをさせていただきたいと思っております。各校のアピールポイント等がありましたら、ぜひ担当までお知らせください！各校独自の取組や魅力的な活動を紹介し、板橋区コミュニティ・スクールの一層の充実を図っていきたく思います！！